

環境掲示板

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会
日時 9月7日(日) 13:00~14:30
集合 野川公園自然センター前
申込 直接会場へ 無料
問合せ 0422-31-9033

森のふくろう

(剪定などの樹木の管理)
主催 森のふくろう(緑のボランティア
講座終了生の会)
日時 9月13日(土) 10:00~15:00
9月27日(土) 10:00~15:00(予定)
場所 北野中央公園 北野3-6-45
対象 会員及び趣旨に賛同する人
問合せ 大徳
daitokufamily@h4.dion.ne.jp

編集後記

この夏、野川に繁茂する外来植物・オオ
ブタクサなどの除草に汗をかいた。汗をか
くと、いろいろなことが分かる。体の調子
もよい。散歩の人たちの関心にこたえてよ
く説明するのを感じている。(安達)
この夏は、真夏日がヶ月近く続きまし
た。各地で集中豪雨もあり、気候の異常を
感じます。身近な自然に触れる喜びを感じ
ながら、この恵みをさらに増やし、子ども
や孫たちに残したいと思います。(山本)

不要のTシャツからエコ布ぞうり作り

主催 三鷹市ごみ対策課
日時 9月18日(木) 13:00~15:45
場所 リサイクル市民工房 定員 8名
申込 往復はがきでごみ対策課へ(抽選)
問合せ ごみ対策課 内線 2535

小さな昆虫教室

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会
日時 9月21日(日) 13:00~15:00
集合 野川公園自然センター前
申込 直接会場へ 無料
問合せ 0422-31-9033

第39回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会
テーマ 「秋の渡り鳥の観察」
日時 9月23日(祝日) 9:30~12:00
集合場所 未定
事前に申込みが必要 費用300円
申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp
HP URL <http://www.kansatsukai.net>

ティピーをたてて、インディアンになろう

主催 NPO法人 こども生活・ゆめこうば
日時 9月28日(日) 11:00~15:00
場所 農業公園自由広場
参加費 300円
問合せ 0422-34-0040
石坂 ishizaka-y@nifty.com
HP URL
<http://www.musicago.com/yumekouba>

発行: みたか環境活動推進会議

連絡先: 三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

みたか環境ひろば

第4号

2008年9月1日発行

丸池の里と仙川の自然

~ 自然環境の回復に市民が活躍 ~

「武蔵名勝図会」によると、昔、勝洲神社
付近で湧水が豊かに湧き出ている、その水
源地は千釜の池と呼ばれていた。その水が
流れ出て川となり仙川と呼ばれるようにな
った。この水は大切な農家の灌漑用水とし
て使われ、下流域の祖師谷、喜多見、鎌田、
岡本などでも使われていた。

だが、戦後は、都市化で人口が増加し、
地下水が減少し、池の水が枯渇し、昭和46
年には、ついに池は埋め立てられ、一時期
児童遊園地となっていた。

昭和63年に住民協議会で1年かけて「仙
川整備と丸池公園化」プランを作成し、市
に提出した。市は、丸池の里を整備するこ
とを決め、平成9年から市民による第1次
ワークショップが始まり、平成12年3月
に第一期工事が終わり、丸池が復活した。
第2次ワークショップも実施され、平成18
年3月に丸池周辺の整備が終わった。池、
広場、田圃、小川、雑木林、梅林と自然豊
かな公園となり、地域の人たちの憩いの場と
なっている。

現在、梅林を除く全公園の清掃作業、梅
林の剪定と水草の管理、水田の管理などの
ボランティア活動が行われている。また地
域の小学校の丸池学習への協力も行われて
いる。学習を通じて、自然に親しみ、公園



丸池には、タナゴ、フナ、クチボソ、エ
ビなどがいます。トンボなども来ます。



仙川には、カルガモ、コサギ、カワセミ、
ゴイサギなどが来ます。

を大切にすることを育てるためです。昨年
6月市民大学で、元わくわく村村長井上利
明さんから、丸池復活の経緯をお伺いし、
大変感銘を受けました。(安達)

第1回 みたか環境懇談会 を開催します

「緑の保全と管理」二部連続講座 講師 東京農業大学准教授

第1部 ~環境を考える~ 9月27日(土)

第2部 ~環境への働きかけ~ 10月18日(土)

時間 13:30~16:00

場所 市民協働センター 第2会議室

定員 50名、予約不要、直接会場へ、無料

主催 みたか環境活動推進会議

問合せ先 三鷹市環境対策課

濱野周泰先生

1953年、三鷹市生まれ新川在住。博士(生物環境調節学)専門分野は造園樹木学。環境省特定外来生物検討委員会・植物班委員他。三鷹市環境基金運用委員会委員長他市の委員会委員長。大人の園芸他著書多数。

三鷹で環境活動をしている団体や市民の皆さん、活動したいが何から始めていいかわからない方、三鷹の環境について知りたい方、環境に関心をもつ皆さんのコミュニケーションの場とするため懇談会を企画しました。講師のお話を伺った後、講師を囲んで、みんなで大いに語り合しましょう。

野川の生き物観察会

8月3日(日)野川公園の自然観察園脇の湧水の小川(ホタル川とヒョウタン川)で、夏季野川・生き物観察会が開催されて、私はスタッフとして参加しました。主催は野川流域連絡会生き物分科会です。一般公募の参加者は、大人19名、子供26名です。午前10時に野川公園自然観察センター前に集合し、まず30分ほど小川の補修作業をしました。木杭を40本ほど打ち込んで、小川の補修をし、その後約40分、湧水の小川と野川本流にすむ生き物を網で捕らえました。



湧水のホタル川には、ホトケドジョウ、ドジョウ、オニヤンマのヤゴなどがいました。野川には、オイカワ、タイコウチ、タモロコ、シジミ、シオカラトンボのヤゴなどがいました。

(安達)

子どもサマーフェスタ

「どろんこ・ぴっチャ」

8月10日、農業公園にて、NPO法人子ども生活・ゆめこうば主催で行われました。地面のちょっとしたくぼみを利用した、ブルーシート上の水たまり。そこで子どもおとなも大はしゃぎ。ちょっとした工夫でこんなに楽しめることにびっくり!最後はスイカ割り。みんなキャッキヤと、笑顔で過ごしました。主催者は「思いっきり心も身体も動かして遊びきる!!」「子どもは大ぜいの中で育つことが大切」との



考えから、子ども達がワクワク・ドキドキするような体験の場を創り出しています。毎月第4日曜日は、11時~15時まで、農業公園に、インディアン風のテント、ティピーをたてて遊びます。(山本)

「里山、谷戸田観察会」



8月20日、環境対策課主催の夏季自然教室が親子5組の参加で行われました。里山を訪ねて、自然の豊かさを体験することが目的です。都立小峰公園に着いて、ビジターセンターで説明を受けた後、まず温度観測をしました。駐車場のアスファルト

(48.5度)、木陰のアスファルト(38.1度)、日なたの土(31.6度)、水源地の地面(24.8度)など。アスファルトと土、そして木陰との違いにみんなびっくり!それから、草地で、バッタやカマキリを捕まえました。「あっ テントウムシだ!違うかも...」「オッ シャクトリムシだ」などの声が聞こえました。セミの抜け殻を探し、田んぼの中のアメリカザリガニの駆除。アメリカザリガニは稲の苗をちょん切ったり、畦に穴を開けたりするのです。生き物を観察するときに動かした石や土などは、元の状態に戻すこと、釣竿などの道具は、自分達で後片付けすることも教えてもらいました。子ども達は、始めて会ったのに、帰る時は大の仲良しになりました。とても楽しく有意義な一日でした。(山本)